

原発事故はほんとうに想定外????

【講演会】原発と大津波～津波の予見可能性

講師 添田孝史氏



東電福島原発事故から4年が過ぎました。しかし、いまだに事実の全貌は明らかになっていません。

全国各地で訴訟が提起され、この兵庫の地でも、被害者たちの尊厳とつつましい生活を取り戻すため、原発賠償請求訴訟に取り組んでいます。争点のひとつは国・東電が津波による全電源喪失を予見できたかどうかです。

添田孝史さんは、科学記者として以前から原発の危うさを鋭く指摘し、事故後は国会事故調査委員会の協力調査員として津波分野の当調査を担当されました。昨秋、『**原発と大津波 警告を葬った人々**』(岩波新書)を発売し、そこには関係者らが津波を予見していた事実が克明に記録されています。

誰が津波の警告を葬ったのか？

津波は本当に「予見できなかった」のか？

どうしてこのような惨事が発生したのか？

綿密な調査・取材を基に、事実の核心に迫ります。

■日時 平成27年(2015年)4月2日(木)
午後6時～午後8時

■場所 兵庫県弁護士会館 4階講堂
(神戸市中央区橘通1-4-3)
JR神戸駅・高速神戸駅下車徒歩5分

■参加無料・予約不要

■講師 添田孝史(そえだ たかし)さん



サイエンスライター。元・朝日新聞科学部記者。国会事故調査委員会の協力調査員。
著書：『原発と大津波 警告を葬った人々』(岩波新書)、『津波は本当に「予見できなかった」のか』(「世界」2014年1月増刊)他
◇TwitterID ; @sayawudon
◇ブログ ; <http://media-risk.cocolog-nifty.com/>
◇原発と大津波 資料と補足
→ <http://soeda221.wix.com/tsunami>



※問い合わせ先 兵庫県弁護士会
電話078(341)7061

兵庫県弁護士会イメージキャラクター「ヒマリオン」



東京電力提供；福島第一原子力発電所緊急対策室の様子